

## 他の専門部会への提案

## ふるさと定着回帰部会への提案

No.	提案元部会	提案の概要	関係部局
1	産業振興部会	移住・定住について、県内定着のためには、Aターンの3年後、5年後の定着状況を調査し、離県した要因を分析するべきではないか。	あきた未来創造部
2	人・もの交流拡大部会	道の駅が「地方創生の拠点」となることを目指してソフト・ハードの整備が進められているが、域外からの交流人口の受け入れに際して機能を発揮させるだけではなく、地域住民への公共サービスの提供や買い物など日常生活に必要な機能の充実など、地域コミュニティを維持・活性化させる拠点としても、より積極的に活用していくべきではないか。	あきた未来創造部
3	未来を拓く人づくり部会	女性が活躍できる場が少ないと感じることから、子育てしながら働きやすい仕組みづくり（例えば休日の取得のしやすさや、子育ての経済支援など）を一層進めていくべきではないか。	あきた未来創造部

## 産業振興部会への提案

No.	提案元部会	提案の概要	関係部局
4	ふるさと定着回帰部会	3次産業、例えばコンサルや営業企画などのような、クリエイティブな仕事がないように思う。収入差を埋めるような、秋田に来ればこんな課題解決やこんな役割があるというような仕事を用意できないか。	産業労働部
5	健康長寿・地域共生社会部会	従業員の健康管理を経営的な課題ととらえ、戦略・計画的に取り組む「健康経営」は、従業員の健康水準の向上に寄与するとともに、企業の生産性の向上や離職率の低下、企業のイメージアップにつながることを期待できることから、健康経営の普及に積極的に取り組んでいただきたい。	産業労働部
6	未来を拓く人づくり部会	若者の県内定着に向けて、子どもたちがふるさとでのキャリア形成への展望を開いていけるように、県内産業への理解を深められる「職場見学」や「インターンシップ」の一層の受け入れを企業に要請していくべきではないか。	産業労働部

## 農林水産部会への提案

No.	提案元部会	提案の概要	関係部局
7	健康長寿・地域共生社会部会	「健康」は県民のあらゆる活動の基盤になるものであり、多くの県民が従事する農林水産業においても、従事者の健康水準が向上することで、生産性の向上、ひいては従事者の生活の質の向上にもつながるものと考えられる。 企業における「健康経営」と同様に、農林水産業における生産性の向上を図る一つの要素として「健康づくり」に取り組んでいただくことはできないか。	農林水産部

## 人・もの交流拡大部会への提案

No.	提案元部会	提案の概要	関係部局
8	産業振興部会	県産食材の売り込みについて、外国や他県の類似品の参入を阻むためにも、産地や製法の基準をしっかりと定めた上、ブランド化を進めるべきではないか。	観光文化スポーツ部
9	健康長寿・地域共生社会部会	郡部では総合病院までの距離が30km以上あるという地域もあり、また、高齢化の進行に伴い、自家用車を運転できない高齢者も増えていることから、住民の移動手段の確保は医療へのアクセス面でも切実な課題となっている。 市町村等と連携を図りながら、住民が安心して利用できる移動手段の確保について検討していただきたい。	観光文化スポーツ部
10	未来を拓く人づくり部会	本県は日本一の指定数を誇る国指定重要無形民俗文化財を有するなど、数多くの文化財の宝庫であることから、これらの周知を図り、観光振興に結び付けていくべきではないか。	観光文化スポーツ部

## 健康長寿・地域共生社会部会（産業振興部会）への提案

No.	提案元部会	提案の概要	関係部局
11	人・もの交流拡大部会	県では、県民の「健康寿命日本一」を目指し、ライフステージに応じた多様なスポーツ活動への参画を促しているが、40代及び50代の男性と20代の女性の参加率が低く、その理由は「仕事が忙しく運動する時間が確保できない」というものが多い。 そこで、健康経営優良法人認定制度を活用するなど、企業も県民の健康づくりに積極的に貢献する仕組みを充実させることが有効であると考えられる。	健康福祉部 (産業労働部)

## 未来を拓く人づくり部会への提案

No.	提案元部会	提案の概要	関係部局
12	健康長寿・地域共生社会部会	本県においては、秋田市とそれ以外の地域における人口当たりの医療施設従事医師数は最大で3倍を超える格差が生じており、医師の地域偏在が顕著になっている。 これには、①県内高校から秋田大学医学部への進学者をみると秋田高校出身者が圧倒的に多いこと、②さらに学区が全県一区となったことにより、秋田高校に優秀な生徒が集まりやすくなっていること、も要因になっていると考えられる。 医師の地域偏在を解消するためには、秋田市以外の高校からも医学部進学者を増やす取組が必要であり、そのためにも、県内各地域の進学校のレベルを高いレベルで平準化する取組が必要ではないか。	教育庁
13	健康長寿・地域共生社会部会	子どもの健やかな発育とより良い生活習慣を形成することは、県民一人ひとりの生涯を通じた健康づくりの基礎になるとともに、本県の健康寿命の延伸にも寄与するものである。 子どもの健康な生活習慣の形成のためには、学校、家庭、地域等が連携して社会全体で取り組む必要があり、教育分野においても子どもの頃からの健康教育の更なる充実に取り組んでいただきたい。	教育庁

## 全ての専門部会に共通する提案

No.	提案元部会	提案の概要
14	未来を拓く人づくり部会	学校教育は地域の人材を生かした教育活動が欠かせないことから、プログラミング教育や各種専門教育など、教育内容を充実させるためにも、全県域で様々な分野の方々にご協力をいただきたい。